

全建発 18～039号  
平成 18年 5月 12日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会  
会長 鈴木 道雄



### 第513回建設技術講習会(これからの公共事業のあり方)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員8万余名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国づくり、少子化・高齢化等への対応、地域再生・都市再生の推進、環境対策、交通安全の確保、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められております。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第513回建設技術講習会では、これからの公共事業をどのように構築するのか、公共事業を巡る諸課題とその対策について、これからの建設技術者のあり方、「事業評価」(成果重視の施策展開)をはじめ、公共工事の品質確保、住民等との協働、広報への取り組みなど、これからの公共事業に向けた施策の実務や展開並びに「公共工物品質確保法」の施行状況など最新の建設技術の動向について情報を得ることを目的としております。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具

全建発第17～314号  
平成18年2月13日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 佐藤 直 良

(国土交通省 大臣官房 技術調査課長)



## 平成18年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、今日、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国づくり、少子化・高齢化等への対応、地域再生・都市再生の推進、環境対策、交通安全の確保、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められており、このため職員研修の役割は従来にも増して重要と考えております。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成18年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただければ幸いです。 敬具

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会  
会長 鈴木 道雄



## 第513回建設技術講習会（これからの公共事業のあり方）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成18年7月12日（水）～14日（金）北海道札幌市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、これからの公共事業をどのように構築するのか、公共事業を巡る諸課題とその対策について、これからの建設技術者のあり方、「事業評価」（成果重視の施策展開）をはじめ、公共工事の品質確保、住民等との協働、広報への取り組みなど、これからの公共事業に向けた施策の実務や展開並びに「公共工事品質確保法」の施行状況など最新の建設技術の動向について情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、北海道（予定）・札幌市（予定）の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴講料：正会員・特別会員・賛助会員..... 9,800円〔うち昼食代1,600円（2日分）〕  
正会員（地元〔北海道内〕）..... 3,000円〔 " " 〕  
非会員..... 14,800円〔 " " 〕  
正会員（地元）とは、北海道内に勤務（出先事務所を含む）の正会員  
聴講のみの参加は可能です

現場研修料：..... 7,900円〔うち昼食代1,200円〕  
現場研修のみの参加はできません

申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。  
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F  
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142  
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会  
お振込の際必ず、お振込人名義の初めに、開催回数の「513」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成18年6月16日（金）必着（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

### 【返金方法】

|                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 平成18年6月30日（金）までの取り消し | 聴講料、現場研修料の全額を返金 |
| 平成18年7月7日（金）までの取り消し  | 聴講料、現場研修料の半額を返金 |
| 上記を過ぎてからの取り消し        | 返金できません         |

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」に認定された講習会です。（CPDS登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

## 第 513 回建設技術講習会 日程

(これからの公共事業のあり方～これからの公共事業をどのように構築するのか?公共事業を巡る諸課題とその対策～)

- これからの建設技術者のあり方、「事業評価」(成果重視の施策展開)をはじめ、公共工事の品質確保、住民等との協働、広報への取り組みなど、これからの公共事業に向けた施策の実務や展開並びに「公共工物品質確保法」の施行状況など最新の建設技術の動向について情報を得る -

会場..... 札幌市教育文化会館 大ホール

〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 13 丁目 TEL 011-271-5821

| 1 日目 平成 1 8 年 7 月 1 2 日 (水) |  |                             | (敬称略)              |
|-----------------------------|--|-----------------------------|--------------------|
| 10:10<br>}                  | あいさつ   | 国土交通省北海道開発局長                | 本 多 満              |
| 10:30                       |  | 北海道知事<br>札幌市長               | 高 橋 はるみ<br>上 田 文 雄 |
| 10:30<br>}                  | これからの建設技術者のあり方<br>～技術者の倫理について～                     | 東京工業大学大学院理工学研究科             | 池 田 駿 介            |
| 12:00                       |  | 教授                          |                    |
| 13:00<br>}                  | 21 世紀の社会資本整備の課題と方向                                 | 国土交通省大臣官房技術調査課              | 山 田 邦 博            |
| 14:30                       |  | 技術企画官                       |                    |
| 14:40<br>}                  | 【特別講演】<br>北海道における建設マネジメント<br>を巡る課題と方向              | 北海道大学大学院工学研究科               | 高 野 伸 栄            |
| 15:40                       |  | 助教授                         |                    |
| 15:50<br>}                  | 【地域事業の紹介】<br>国営滝野すずらん丘陵公園<br>の整備について               | 国土交通省北海道開発局札幌開発建設部          | 村 澤 邦 光            |
| 16:20                       |  | 国営滝野すずらん丘陵公園事務所工務課長         |                    |
| 16:50                       | モエレ沼公園<br>～マスタープラン：イサム・ノグチ～                        | 札幌市みどりの推進部<br>利用促進担当課長      | 山 本 仁              |
| 2 日目 7 月 1 3 日 (木)          |  |                             | (敬称略)              |
| 9:30<br>}                   | 公共サービスの仕組みと<br>行政の役割について<br>～民の支援のあり方～             | (社)土木学会 建設マネジメント<br>委員会 幹事長 | き 佐 橋 義 仁          |
| 10:50                       |  | 〔(株)建設技術研究所 常務取締役〕          |                    |
| 11:00<br>}                  | 公共工物品質確保法の施行について<br>～総合評価方式の実施状況～                  | 国土交通省大臣官房技術調査課              | 平 出 純 一            |
| 12:00                       |  | 建設技術調整官                     |                    |
| 13:00<br>}                  | 市民参加の仕組みと実際<br>～世田谷区立<br>ねこじゃらし公園の 10 年～           | NPO 法人 玉川まちづくりハウス<br>運営委員   | 林 泰 義              |
| 14:30                       |  | 〔千葉大学客員教授〕                  |                    |
| 14:40<br>}                  | アセット・マネジメント(*)<br>～それは舗装から始まった～<br>*:計画的な公物資産管理の手法 | 北海道工業大学工学部社会基盤工学科           | 笠 原 篤              |
| 16:00                       |  | 教授                          |                    |
| 16:00<br>}                  | 閉会のあいさつ  | 北海道地区連合会長<br>(札幌市建設局長)      | 波 田 正 明            |
| 地域の独自調査                     |  |                             |                    |
| 【現場研修】 3 日目 7 月 1 4 日 (金)   |  |                             |                    |

札幌市教育文化会館 (8:30) 出発

モエレ沼公園造成事業 (下車説明)

勝納川環境整備事業 (下車説明)

昼食 (小樽市内)

国営滝野すずらん丘陵公園整備事業 (下車説明)

新千歳空港 (16:15) 着後解散 / JR 札幌駅 (17:30) 着後解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。  
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

## 第 5 1 3 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1 モエレ沼公園造成事業

..... 札幌市東区丘珠町

モエレ沼公園は、札幌の市街地を公園や緑地の帯で包み込もうという、「環状グリーンベルト構想」における北部の拠点公園として計画されました。モエレ沼を含む約 189ha を公園区域として、平成 17 年（2005 年）夏に全面完成いたしました。



モエレ沼公園は、ゴミ処理場建設の必要に迫られていた清掃事業とあいまって、ゴミ処理場として利用した後、公園造成を行うユニークな事業として整備が始まりました。昭和 54 年からゴミの埋立てが、昭和 57 年からは公園の基盤造成が始まり平成 2 年の処理場閉鎖まで搬入された廃棄物の総量は 270 万 t になります。

なお、昭和 63 年 3 月、初めて札幌を訪れた彫刻家イサム・ノグチは、雪の残るモエレ沼の水面と大地、その上に広がる北の空を眺めていました。この公園事業に強い関心を持った同氏の期待に応え、札幌市は公園の設計を委託し、同氏は、「全体をひとつの彫刻とみなした公園」のマスタープランを完成されました。

### 2 勝納川<sup>かつないがわ</sup>環境整備事業

..... 小樽市奥沢 2 丁目

勝納川の河川環境整備は、河川清掃や勝納川再生への提言など市民レベルの運動から始まった事業です。

地域住民と行政が幾度となく話し合い、解らないところは専門家のアドバイスを受けながら創りあげた計画です。

現在は、魚道 4 基のほか、低水路、散策路の整備などが残っています。



これからは、今まで以上に地域住民が安らぎを感じ、愛着が持てるような、また、子どもたちが将来、「古里の川 = 勝納川」として心に刻まれるような川づくりをめざしている。

### 3 国営滝野すずらん丘陵公園整備事業

..... 札幌市南区滝野

滝野公園では「自然とのふれあい」をテーマに、森林・草原・芝生の「緑」、滝・溪流・湖の「水」、雪・氷の「白」をイメージからとし、これらにふさわしい公園づくりを目指して、現在も整備を進行中です。公園全体は、「溪流」「中心」「宿泊」「森林スポーツ」「自然観察」「保全」の 6 つのゾーンに区分され整備と活用を進めています。

整備は昭和 53 年からスタートし、58 年 7 月に「溪流ゾーン」「保全ゾーン」の一部 30ha を開園しました。続く 63 年 1 月には「歩くスキーコース」12ha、平成元年 9 月には「青少年山の家」12ha、同 6 年 6 月には「オートリゾート滝野」20ha、14 年度には「カントリーガーデン」「こどもの谷」28ha、さらに 16 年 7 月には「森のすみか」約 6ha を開園し、現在までに計画総面積 395.7ha のうち、約 49%の 192.3ha が開園しています。



## 第 513 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

**宿泊料金**：宿泊希望者には札幌市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。  
**宿泊予約申込**：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。  
**宿泊予約金**：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。  
**送金先**：西鉄旅行(株) 東京営業本部日本橋支店 TEL 03(3272)2411 FAX 03(3272)3169  
 銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座 1015114  
 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14 (都民興業日本橋ビル 6F)  
 お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「513」を付け加えて下さい。  
**問い合わせ先**：西鉄旅行(株) 東京営業本部日本橋支店 TEL 03(3272)2411 FAX 03(3272)3169  
 「全建担当デスク」迄  
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

### 取り消し・返金について

|                              |             |
|------------------------------|-------------|
| 平成 18 年 6 月 30 日 (金) までの取り消し | 宿泊予約金の全額を返金 |
| 平成 18 年 7 月 7 日 (金) までの取り消し  | 宿泊予約金の半額を返金 |
| 上記を過ぎてからの取り消し                | 返金は一切ありません  |

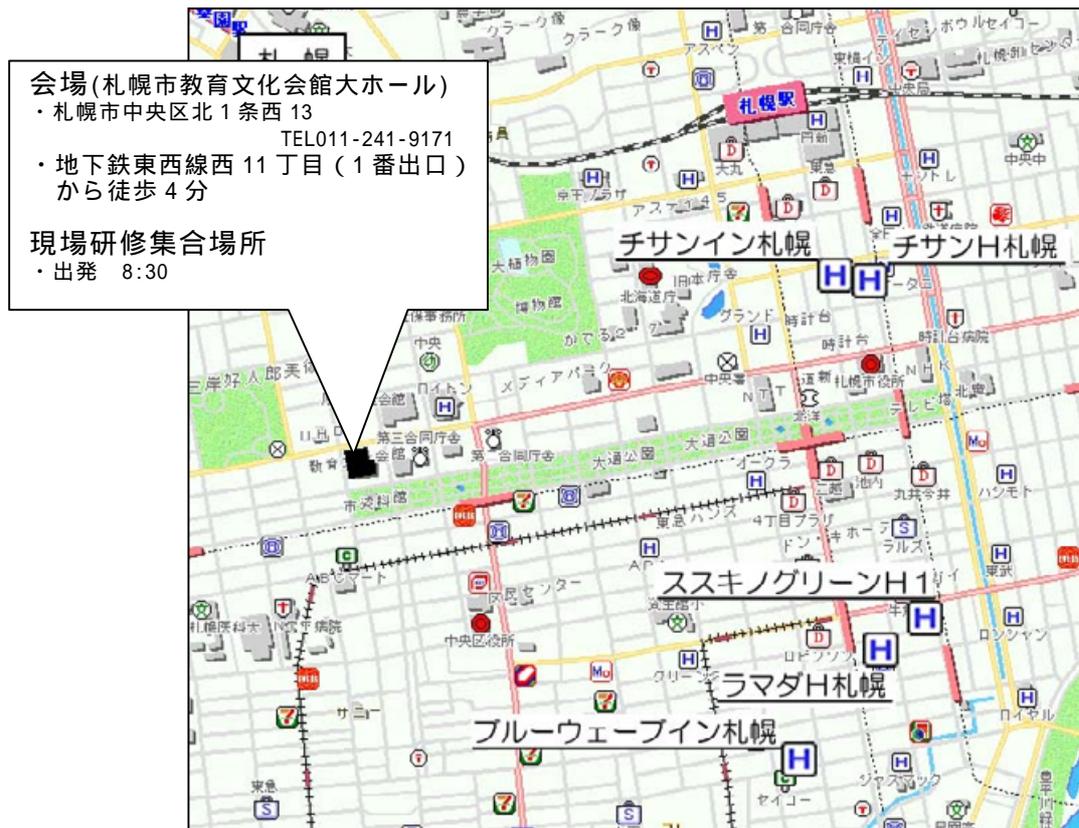
### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成 18 年 7 月 11 日 (火), 12 日 (水), 13 日 (木)、延泊 14 日 (金) (1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

| 記号       | 宿舎名           | 電話番号・所在地                               | 部屋タイプ | 宿泊人数  | 全建宿泊代金  |
|----------|---------------|--|-------|-------|---------|
| A        | チサンホテル札幌      | 札幌市中央区北 2 条西 2-9<br>TEL: 011-222-6611  | シングル  | 50 名  | 9,500 円 |
|          | ススキノグリーンホテル 1 | 札幌市中央区南 4 条西 2<br>TEL: 011-511-4111    |       | 60 名  | 9,000 円 |
| B        | ラマダホテル札幌      | 札幌市中央区南 5 条西 3-7<br>TEL: 011-512-5533  |       | 30 名  | 8,400 円 |
|          | チサンイン札幌       | 札幌市中央区北 2 条西 2-19<br>TEL: 011-231-8441 |       | 60 名  | 8,000 円 |
|          | ブルーウェーブイン札幌   | 札幌市中央区南 7 条西 5<br>TEL: 011-511-7531    |       | 60 名  | 7,000 円 |
| 宿泊斡旋人数合計 |               |  |       | 260 名 |         |

\* 宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。  
 また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

### 会場・宿舎案内図



## 第 513 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意ください。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A ~ G を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行(株)宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部日本橋支店 TEL 03(3272)2411 「全建担当デスク」

### 【往路】7月11日（火）講習会前日の便

| 記号 | 搭乗区間                           | 便名                | 幹旋席数 | 片道航空代金  |
|----|--------------------------------|-------------------|------|---------|
| A  | 東京（羽田） 15:30<br>札幌（新千歳） 17:00  | JAL1029<br>（日本航空） | 35席  | 17,500円 |
| B  | 名古屋（中部） 15:20<br>札幌（新千歳） 17:00 | JAL3111<br>（日本航空） | 15席  | 24,000円 |
| C  | 神戸（神戸） 13:50<br>札幌（新千歳） 15:45  | JAL3305<br>（日本航空） | 15席  | 23,000円 |

### 【復路】7月13日（木）聴講終了後の便

| 記号 | 搭乗区間                          | 便名                | 幹旋席数 | 片道航空代金  |
|----|-------------------------------|-------------------|------|---------|
| D  | 札幌（新千歳） 18:00<br>東京（羽田） 19:35 | JAL1030<br>（日本航空） | 10席  | 18,500円 |

### 【復路】7月14日（金）現場研修終了後の便

| 記号 | 搭乗区間                           | 便名                | 幹旋席数 | 片道航空代金  |
|----|--------------------------------|-------------------|------|---------|
| E  | 札幌（新千歳） 17:30<br>東京（羽田） 19:00  | ANA72<br>（全日空）    | 30席  | 18,500円 |
| F  | 札幌（新千歳） 17:50<br>名古屋（中部） 19:35 | JAL3116<br>（日本航空） | 15席  | 28,000円 |
| G  | 札幌（新千歳） 17:30<br>大阪（伊丹） 19:20  | JAL2016<br>（日本航空） | 15席  | 25,000円 |

- ・上記代金には、航空保険特別料金（1区間 300円）、旅客施設使用料（東京（羽田）1区間 100円/名古屋（中部）1区間 200円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約 40 分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。  
航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機に時間帯（便）により異なります。

### 【団体航空便取消料】片道 1 席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

| 記号        | 搭乗区間 | 6/27～6/30<br>に取消した場合 | 7/1～7/6<br>に取消した場合 | 7/7 以降便出発まで<br>に取消した場合 |
|-----------|------|----------------------|--------------------|------------------------|
| A～G（全便共通） |      | 3,000円               | 6,000円             | 9,000円                 |

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

第513回建設技術講習会(これからの公共事業のあり方)申込書

<個人情報の取扱いについて>  
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただきます。但し、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

| 参加者                              |    | 勤務先<br>(所属課名まで記入のこと) | 聴講者別 |     | 昼食不要<br>(×印) | 現場研修 |
|----------------------------------|----|----------------------|------|-----|--------------|------|
| (フリガナ)氏名<br>(女性の場合は番号に 囲みにして下さい) | 年齢 |                      | 正会員  | 非会員 |              |      |
| 1                                |    |                      |      |     |              |      |
| 2                                |    |                      |      |     |              |      |
| 3                                |    |                      |      |     |              |      |
| 4                                |    |                      |      |     |              |      |
| 5                                |    |                      |      |     |              |      |
| 6                                |    |                      |      |     |              |      |
| 7                                |    |                      |      |     |              |      |
| 8                                |    |                      |      |     |              |      |
| 9                                |    |                      |      |     |              |      |
| 10                               |    |                      |      |     |              |      |

| 宿泊申込            |     |     |       | 航空便申込  |     |     |
|-----------------|-----|-----|-------|--------|-----|-----|
| 予約日にA・Bを記入して下さい |     |     |       | 往路     | 復   | 復   |
| 7月11日           | 12日 | 13日 | 延泊14日 | A～Gを記入 |     |     |
| 7月11日           | 13日 | 14日 |       | 7月11日  | 13日 | 14日 |
|                 |     |     |       |        |     |     |
|                 |     |     |       |        |     |     |
|                 |     |     |       |        |     |     |
|                 |     |     |       |        |     |     |
|                 |     |     |       |        |     |     |
|                 |     |     |       |        |     |     |
|                 |     |     |       |        |     |     |
|                 |     |     |       |        |     |     |
|                 |     |     |       |        |     |     |
|                 |     |     |       |        |     |     |

|                                    |              |   |  |                      |
|------------------------------------|--------------|---|--|----------------------|
| 聴講料                                |              |   |  | 現場研修の昼食は不要の申し出はできません |
| 正会員・特別会員・賛助会員                      | 名× 9,800円 =  | 円 |  |                      |
| 〃 (昼食不要)                           | 名× 8,200円 =  | 円 |  |                      |
| 正会員(地元(北海道内))                      | 名× 3,000円 =  | 円 |  |                      |
| 〃 (昼食不要)                           | 名× 1,400円 =  | 円 |  |                      |
| 正会員(地元)とは、北海道内に勤務(出先事務所を含む)している正会員 |              |   |  |                      |
| 非会員                                | 名× 14,800円 = | 円 |  |                      |
| 〃 (昼食不要)                           | 名× 13,200円 = | 円 |  |                      |
| 現場研修料                              | 名× 7,900円 =  | 円 |  |                      |
| 計                                  |              | 円 |  |                      |

|       |          |   |
|-------|----------|---|
| 宿泊予約金 | 泊×4,000円 | 円 |
| 航空便   |          |   |
| 往路    | 名×       | 円 |
| 復路    | 名×       | 円 |
| 計     |          | 円 |

全建に振込

西鉄旅行(株)に振込

[お申込み後の変更・取り消し・追加方法について]

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03 - 3586 - 6640 迄

[聴講時の昼食について]

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

[現場研修時の昼食について]

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。